

NEWS LETTER

～共創空間のヒントを見つけよう～

VOL.01



愛された場所を より愛される場所へ

惜しまれながらも閉館となった、北名古屋市西図書館。共創のまちづくりを実現する理想の空間『共創空間』として、新たに北名古屋市市民活動センターへと生まれ変わり、令和6年10月1日オープンします。西図書館跡地を引き続き魅力ある拠点とするべく、企業や大学で実現されている共創空間のさまざまな事例を、魅力的な市民活動拠点づくりへどう活かすことができるのかヒントを見つけよう！をテーマに、令和5年12月5日、ゲストを招いてのワークショップが名古屋芸術大学アートスクエアにて開催されました。

北名古屋市の市民活動センターに
どのような「共創」があると良いのか…？



左) 河田 佳美さん

株式会社オカムラ 中部支社 マーケティング課
セールスプロモーションセンター
Open Innovation Biotope "Cue"コミュニティマネージャー

右) 宮原 知沙さん

元名城大学社会連携センター 社会連携コーディネーター
(社会連携ゾーン shake運営)
NAGOYA CONNCT プログラムパートナー

多様なカテゴリーの人々が関わる共創空間のコミュニケーションを活性化させる役割を担う"コミュニティマネージャー"河田 佳美さん・宮原 知沙さんをお招きし、企業や大学での共創空間事例をお話いただきました。実際にどの様に運営してこられたか、設置趣旨や組織における位置付け、ターゲット、共創を生み出す仕掛け、何を大切に、どんな共創を実現してきたかなど、画像と共に紹介いただくことでイメージを具体的に膨らませることができました。

株式会社オカムラ

Open Innovation Biotope "Cue"

『はたらく』のワクワク、みつけた。

ツナガリ 多様性

肩書、職種、年齢などに
とらわれず、そこに集まる
多様な人たちのゆるやかな
ツナガリをデザインします

シゲキ 継続性

非日常的な空間での対話で
知的好奇心や感性を
シゲキし、コミュニティや
プロジェクトを育みます

ヒラメキ 実効性

対話を深め、手を動かしたり
起こすことによって
ヒラメキをかたちにし、
その感覚や体験を共有します

オフィス家具メーカーとして、"人が生きる環境づくり"に努める株式会社オカムラ様。「『はたらく』のワクワク、みつけた。」をテーマに、名古屋ビルディング14階に2017年創設。コミュニティマネージャー3名で企画運営。これまでのイベント開催回数は312回、総勢7292名が参加。



全国4拠点の共創空間による ステークホルダーとの共創活動



NEWS LETTER

～共創空間のヒントを見つけよう～

VOL.02

名城大学社会連携センター 社会連携ゾーン shake

名城大学の社会連携の推進を具体化する拠点



複雑な社会問題の解決に向け、在学生、卒業生、教職員だけでなく、地域、行政、企業など多様な人々が年齢や職業を超えてフラットに交流する機会を創出している。多様な人々との交流を通じて「集・学・創」が共有でき、社会課題に取り組むプロジェクトの発生を狙う。社会連携センターPLATが共創を生み出す『もう1つの学びの場』として運営を担っている。

shakeの設置趣旨に共感し、一緒に盛り上げてくれる仲間をパートナーシップ団体として登録。過去には登録団体と連携し、平日の夜、shakeで活動しながら場を見守る日直制度を設けるなど、独創的なシステムで活気を保つ工夫がなされている。

初冬の冷え込みも吹き飛ばす 熱気に包まれたワークショップに…

平日午前の開催にもかかわらず、北名古屋市外、また、有給休暇をとって参加された方など、多くの初参加の方も含め44名の方にご参加いただきました。お二人のお話をヒントに、グループで感想を共有し、質問や疑問点など意見を交換。休憩を惜しむほど話し合いが盛り上がり、ゲストのお二人が驚かれるほど多くの質問が飛び交いました。



『共創空間』とは 探究しチャレンジする場であること

- ・ 思いを受け止め、対話し寄り添う場となること
- ・ 何かが起きた時、みんなで解決すること
- ・ まずはやってみる、できなくても失敗してもいい
- ・ 共創とは「生み出す場所」ではなく、「生み出すことに挑戦する」場所

共創においてお二人が共通し大切にされているポイントについては、皆さん特に真剣に聞き入られていました。河田さん、宮原さん貴重なお話をありがとうございました！

ワークショップに参加して…



- ・ 北名古屋市楽しい！これからも楽しみ。
- ・ とても刺激のあるためになる話が聞けてすごくよかった。
- ・ 0から1、1から先は共創で、という点がワクワク楽しみに感じた。
- ・ 「共創空間とは？」が、今日自分の中に落とし込めた。
- ・ 北名古屋市での現状や活動を知る機会を得られたことが大きかった。
- ・ 平日の昼間にこんなに密な話ができて、正直驚いた。
- ・ 社会人/企業人との「共存」「境が無いこと」が大切だなと思った。
- ・ 夢や目標に挑戦するきっかけとなる空間になると「愛され、人が集まるランドマーク」になるのではと思った。
- ・ 何を目的にどんな場所を作るのか？そのコンセプトを持つこと、フェーズごとに柔軟に変化し共に創ることが大切なのだなと思った。
- ・ 市にすでにある魅力をより引き出せるような拠点ができたら良い。

オープンまでの道程をチェック！ INFORMATION

今後開催予定の市民参加型ワークショップのご案内や開催レポ、これまでの振り返りは右記二次元コードより共創空間リンクツリーへ！
拠点オープンまでのワクワクをお見逃しなく！



ご意見をお聞かせください！

ワークショップへのご参加が難しい方も、簡単なステップのアンケートで、市民活動センターについてご意見やアイデアをお寄せいただけます！
(※回答は匿名で集計されます)

FEEDBACK

